

「空港利用時・飛行機に乗る際の注意点」の巻



空港のセキュリティ検査では
どうすればいいの？



空港セキュリティシステムのなかにはX線使用の検査もあるため、
利用する空港保安検査場を通過するときの
ポンプの取扱方法を知っておくのが大切じゃ。

空港利用時・飛行機に乗る際のCheck Point!

インスリンポンプによる良好な血糖コントロールを維持するために、
各事項について確認および実施してください。

事前に

- ✓ エアポート医療機器情報カードを準備
- ✓ セキュリティシステムの確認
(X線ボディスキャナー検査、金属探知検査の有無)

常に

- ✓ 補食やバックアップの携行
- ✓ こまめな血糖自己測定



*インスリン製剤の取扱方法に関しましては、
かかりつけの医療機関にお問い合わせください。



空港利用時・飛行機に乗る際の注意点

空港でのセキュリティシステムについて確認するほか、血糖コントロール不良を防ぐためにも、飛行機内および旅行や出張先でもこまめな血糖自己測定を心がけてください。



空港で…

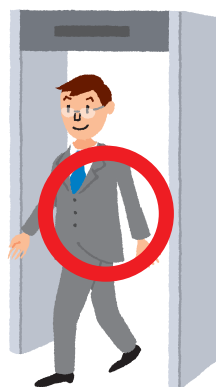
空港のセキュリティ検査には磁場による金属探知検査とX線によるボディスキャナー検査があります。金属探知検査はインスリンポンプ装着のまま通過が可能です。

● X線ボディスキャナー検査がある、または検査方法の確認が困難な場合

- ① 「エアポート医療機器情報カード」を空港検査場係員に提示してください。
- ② X線への曝露を避けるため、接触検査または金属探知検査を依頼してください。ポンプをX線ボディスキャナー検査および手荷物X線検査に通さないでください。
- ③ X線ボディスキャナーを受ける際は、ポンプとチューブをカニューレから取り外し、検査を受けてください。ポンプのみ金属探知機での検査を行い、検査後はポンプを再度、装着してください。

*もしもインスリンポンプをX線に曝露した場合、「ユーザーガイド」をご参照の上、セルフテストを実施し、インスリンポンプに異常が無いかを確認してください。セルフテストが終了しない場合（インスリンポンプに異常がある場合）、かかりつけの医療機関へ連絡し、他のインスリン注射手段（ペン型注入器やインスリン専用注射針）でインスリン注射を行ってください。

金属探知検査



X線ボディスキャナー検査



飛行機内で…

気圧の変化で注入量が変わる可能性があります。その他にも普段とは異なる要因（運動量の変化、食事時間や内容、ストレスなど）も加わります。血糖値への影響を確認するため、こまめな血糖自己測定を行いましょう。気泡が発生した場合、除去してください。



旅行・出張先で…

旅行や出張先でも気温や気圧といった環境の変化とともに、時差や食事といった生活の変化により血糖値に影響が出る可能性があります。環境の違う場所に行かれる際は、事前に医師に相談のうえ、補食（グルコース）やその他のインスリン注射方法（ペン型注入器やインスリン専用注射針）を携行し、旅行や出張中はこまめな血糖自己測定を行いましょう。



安全にご使用いただくため、操作方法につきましては必ず「ユーザーガイド」で詳細をご確認ください。

- 操作に不安がある場合は、かかりつけの医療機関または下記サポートラインまでご連絡ください。

パラダイムインスリンポンプ

使い方に関する

24時間サポートライン

コール ミニ コール
0120-56-32-56

日本メドトロニック株式会社 ダイアビーティス事業部

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1

www.medtronic.co.jp

販売名
パラダイムインスリンポンプ
キットセット
シルエット

医療機器承認番号
21700BZY00314000
21500BZY00588000
22100BZX00462000